



牛の毛刈りを体験する向川原奏那ちゃん（葛巻小3年）と指導する酒多利明さん（野中）

ホルスタインの魅力学ぶ リーディングスクール

ホルスタイン・リーディングスクール（町乳牛改良同志会、JA新しいわて青年部葛巻支部共催）は8月11日、くずまき高原牧場チャレンジハウスで親子連れなど約70人が参加して行われました。

牛の毛刈りや牛の引き方を体験し、触れ合いながら酪農について学びました。共進会を想定した牛の品評では「足が長い」などと評価する子どもたちに関心する場面も。西舘亮太くん（葛巻小6年）は「毛を刈るとさらさらするし、かわいい」と愛おしそうになでていました。

民謡伝承会ミニコンサート 伸びのある歌声で魅了する

葛巻みんよう伝承会ミニコンサートは8月6日、葛巻病院の活・いきホールで行われ、町民ら約30人が鑑賞しました。

この日は、5歳からの会員10人が「外山節」や「南部牛追唄」など全8曲を披露。伸びのある歌声に観衆が合いの手を入れ、会場が一体になり盛り上がりを見せていました。

同会代表の吉澤ツエさん（田子）は「緊張していたけれど、お客さんが一緒に歌ってくれて、温かく楽しい雰囲気だった」とにこやかに話してくれました。



観衆と一緒に合いの手を入れながら伸びのある歌声を披露する葛巻みんよう伝承会の皆さん

めざまし作戦大成功！ 安全運転を呼び掛ける

町交通安全対策協議会主催の「めざまし作戦」は8月10日、道の駅くずまき高原の駐車場で交通指導隊や交通安全母の会、小田防犯少年隊の子どもたちなど35人が参加して行われました。

帰省客などのドライバーへ反射材やくずまき高原牛乳などを配り「安全運転をお願いします」と交通安全を呼び掛けました。小田防犯少年隊の三澤蓮ちゃん（葛巻小1年）は「始めは緊張したけど、楽しくできました」と積極的に声を掛け、意欲的に取り組んでいました。



「安全運転をお願いします」とドライバーに声を掛けながらくずまき高原牛乳を配る三澤蓮ちゃん（中央）



真剣な表情で丁寧に作業を進める参加者の皆さん

陶芸教室で手仕事体験 こだわりの茶わん作る

夏休み陶芸教室は7月31日、八幡平市で陶芸工房（tamari窯）を営み、くずまきクラフト市にも出店している高村麻里さんを講師に迎え、総合センターで行われました。

参加者たちは茶わん作りに挑戦。粘土を伸ばすところから模様付けまでを体験しました。

お母さんと参加した上野紗璃ちゃん（葛巻小1年）は「お茶わんの下の台を付けるのが難しかったけど、模様を付けるのが面白かったです」と焼き上がる2カ月後の完成を楽しみにしていました。

安全確認意識しよう 江川で交通安全教室

町交通安全母の会（神谷ミツ子会長）主催の子どもと高齢者の交通安全教室は8月1日、江川農村センターで行われ保育園児や地域の人など30人が参加し交通安全の意識を高めました。

教室では「トラッキー」と一緒に横断歩道の渡り方を確認したり、シートベルトの大切さなどを寸劇を通して呼び掛けていました。教室に参加した山本大稀くん（五日市小5年）は「夜は暗い色の服を着ない事と普段から車に気を付け、横断歩道でも手を挙げるようにしたいです」と話していました。



トラッキーと横断歩道の渡り方を確認する園児たち

葛葉荘で避難訓練 連携深め安全確保

養護老人ホーム葛葉荘（入所者50人）は8月1日、大雨災害を想定した入所者の避難訓練を行い、移送手順や移送に必要な時間などを細かく確認しました。

全国各地で雨による災害が発生していることから、入所者の安全確保のため町職員らの協力を受け初めて実施。大雨による土砂災害が発生し高齢者等避難開始が発表された想定で訓練を行い、施設内から総合センターへ避難しました。

入所者たちは、職員らの補助を受けながら落ち着いた様子で行動していました。



葛葉荘から総合センターへ入所者を避難させる訓練の様子